

廃棄物資源循環学会、資源・素材学会 包括的資源利用システム部門委員会共催セミナー

## 都市ごみ焼却残渣の資源化最前線

～金属回収、土木資材化による最適な資源循環～

わが国の一般廃棄物最終処分場の残余年数は約 20 年とされ、都市ごみ焼却残渣の熔融スラグ化やセメント原料化等による最終処分量の削減が進められてきましたが、さらなる資源化を進めることが期待されています。また、焼却残渣からの金属資源回収については、熔融メタルの回収、熔融飛灰の山元還元のほか、鉄・アルミの回収等が一部で行われています。一方で、欧州では都市ごみ焼却残渣からの貴金属やベースメタルの回収を積極的に行なっている例があり、こうした技術を適用することによって、わが国でもさらに金属資源回収を進め、最終処分量の削減が行える可能性があります。

セミナーでは、都市ごみ焼却残渣の金属回収、セメント原料化、熔融スラグ化等の総合的なあり方について、最新の情報を提供し、課題、展望について意見交換します。関係者の方々の多数の参加をお待ちしております。

主催：廃棄物資源循環学会、共催：資源・素材学会 包括的資源利用システム部門委員会

日時：平成 29 年 12 月 25 日（月）10 時 00 分（受付開始 9 時 30 分）

場所：北とぴあ 7 階 第 2 研修室

〔交通〕京浜東北線 王子駅北口より徒歩 2 分・地下鉄南北線 王子駅 5 番出口直結

〔定員〕105 名（事前申込み制）

〔参加申込み〕学会ホームページ (<http://jsmcwm.or.jp/>) から申込みください。

〔参加費〕（会員）8000 円（非会員）10000 円（学生）3000 円

〔意見交換会費〕5000 円

10：00～10：05 開会の挨拶

廃棄物資源循環学会会長 島岡隆行

### 基調講演

10：05～10：40 「都市ごみ焼却残渣の資源化の現状と課題」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長補佐 平松寛章

### 第1部 都市ごみ焼却残渣の資源化のあり方

座長 肴倉宏史

10：40～11：15 「都市ごみ焼却残渣の資源化の現状と欧州の事例紹介」

国立環境研究所 資源循環・廃棄物処理センター 室長 肴倉宏史

11：15～11：40 「消費者アンケート調査から見る焼却残渣に含まれる金属資源の由来」

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 准教授 村上進亮

11：40～12：05 「都市ごみ焼却残渣の最適なセメント原料化」

東京都環境科学研究所 環境資源研究科 主任 飯野成憲

12：05～12：25 「熔融スラグ化による効果と今後の課題」

エコスラグ利用普及委員会 永山貴志

12：25～13：25 昼休憩

### 第2部 都市ごみ焼却残渣資源化技術の最前線

座長 大和田秀二

13：25～14：00 「都市ごみ焼却主灰からの金属濃縮技術」

早稲田大学大学院創造理工学研究科地球・環境資源理工学専攻 教授 大和田秀二

- 14 : 00～14 : 25 「都市ごみ焼却残渣のセメント原料化及び有用金属回収の最新動向」  
太平洋セメント株式会社 中央研究所 リーダー 石田泰之
- 14 : 25～14 : 45 「エコスラグの新しい利用用途開発と金属の有効利用」  
エコスラグ利用普及委員会 小野義広
- 14 : 45～15 : 10 「民間集約型の還元溶融炉による溶融スラグ細骨材製造と金属回収」  
(大太平洋金属(株)、中央電気工業(株)、中部リサイクル(株)、メルテック(株))  
大太平洋金属株式会社製造本部環境事業部 課長 杉山 晋
- 15 : 10～15 : 35 「塩化揮発による金属分離の実証と落じん灰への応用」  
鳥取県衛生環境研究所 リサイクルチーム長 門木秀幸
- 15 : 35～15 : 45 休憩

### 第3部 都市ごみ焼却残渣資源化の展望

- 15 : 45～16 : 40 都市ごみ焼却残渣の資源化に関するディスカッション  
コーディネーター：国立環境研究所 資源循環・廃棄物処理センター 室長 肴倉宏史  
パネリスト：上記講演者（計10人 各講演者の都合確認後に決定予定）
- 16 : 40～16 : 45 閉会の挨拶 資源・素材学会 包括的資源利用システム部門委員長 村上進亮
- 17 : 00～19 : 00 意見交換会 王子東武サロン（北とぴあ17階）